

イベントの概要

※催物のチラシや計画書等（既存資料）を併せてご提出ください。

開催日時

令和 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分

※複数回開催の場合 → 別途、開催する日時の一覧をご提出ください。

開催会場

会場所在地

参加人数等

人

全国的・広域的な人の移動を伴うイベント等に該当

【収容定員】

人

収容定員なし

【人数上限】 ※いずれか大きいほうにチェック

5,000人 収容定員の50%

※人数上限及び収容率上限のいずれか小さいほう

【収容率上限】 ※どちらかにチェック

大声での声援等なし(100%)

大声での声援等あり(50%)

【収容人数上限】

人

※計算結果を記入

収容定員等

※必要な感染防止対策の徹底が担保されない場合
⇒人数上限5,000人かつ収容定員半分程度が限度

【収容定員なしの場合】 ※どちらかにチェック

大声での声援等なし

大声での声援等あり

密が発生しない程度の間隔

十分な間隔 (1m)

【全国的・広域的な人の移動を伴うイベント等の場合】

● 開催を慎重に検討

十分な間隔 (1m)

※全国的・広域的な人の移動が見込まれない行事で参加者がおおよそ把握できるもの
⇒適切な感染防止策の徹底・COCOA活用や参加者の連絡先等の把握

出演者
チーム等

※多数のため収まらない場合 → 別途、一覧をご提出ください。

主催者

主催者
所在地主催者
連絡先

(電話番号)

(メールアドレス)

開催案内等の
URL

必要な感染防止対策

※すべてのイベント等において実施することが前提。
 ※チェック内容が確認できる資料等をご用意ください。
 ※屋外であるから等の理由でチェックがつかない、必要がないと考える場合は、チェックボックスを空欄とし、別紙に事由をご記入ください。

開催の共通の前提

広域的なこと等により入退場や区域内の行動管理ができないものは開催を慎重に検討してください。

マスク常時着用の担保

- マスク着用状況を確認し、個別に注意等を行い、マスクの常時着用を求めることができる体制整備
- マスクを持参していない者がいた場合は主催者側で配布・販売を行い、マスク100%を担保

大声抑止の担保

- 大声を出す者がいた場合に、個別に注意等ができる体制整備
- スポーツイベント等でラッパ等の鳴り物を禁止し、個別に注意等ができる体制整備

手洗奨励

- こまめな手洗いの奨励

消毒徹底

- 主催者側による施設内（出入口、トイレ、ウイルスが付着した可能性のある場所等）のこまめな消毒、消毒液の設置、手指消毒

換気

- 法令を遵守した空調設備の設置、こまめな換気
 - ・ 1時間に2回以上、1回に5分間以上
 - ・ 室温が下がらない範囲で常時窓開け 等
- 乾燥する場面では、湿度40%を目安に加湿

密集の回避

- 入退場時の密集回避（時間差入退場等）、待合場所等の密集回避
- 入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はキャパシティに応じ収容人数を制限

身体的距離の確保

- 【大声を伴う可能性のあるイベント】隣席との身体的距離の確保。※具体的には、同一の観客グループ間（5名以内に限る。）では座席を空けず、グループ間は1席（立席の場合1m）空ける。
- 【演者が発声する場合】舞台から観客の間隔を2m確保
- 混雑時の身体的距離を確保した誘導、密にならない程度の間隔（最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔）

必要な感染防止対策

食事の制限

- 食事に感染防止策（パーティション設置又は人と人との間隔の確保等）を行ったエリア以外での食事の制限
- 休憩時間中及びイベント等の前後の食事による感染防止の徹底
- 過度な飲酒の自粛呼びかけ
- 【収容率が50%を超える場合】 飲食可能エリア以外（例：観客席等）は原則自粛。 ※発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保、会話が想定される場合の飲食禁止、十分な換気、連絡先の把握、食事時間の短縮を行う場合に限り、食事可
- 飲食提供者は不織布マスク着用を推奨（フェイスシールドのみは不可）

参加者の制限

- 入場時の検温、入場を断った際の払い戻し措置等
※発熱者・有症状者の入場は断る等のルールをイベント開催前に明確に規定し、当該規定を十分周知している場合は払い戻し不要

参加者の把握

- 可能な限り事前予約制、あるいは入場時に連絡先の把握
- 接触確認アプリ（COCOA）の奨励
- イベントで感染者が発生した場合、迅速・確実に参加者に保健所等への相談を促すとともに、保健所が実施する疫学調査に協力する

演者・選手等の行動管理

- 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控える
- 演者・選手等と観客が催物前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じるとともに、接触が防止できないおそれがあるイベントについては開催を見合わせる
- 合唱等、声を発出する演者間での感染リスクへの対処

催物前後の行動管理

- イベント等の前後の感染防止（交通機関・飲食店等の分散利用）の注意喚起
- 飲食及び宿泊時のやまなしグリーン・ゾーン認証施設利用の呼びかけ

ガイドライン遵守の旨の公表

- 主催者及び施設管理者が、各業界団体等が作成する感染拡大予防ガイドライン又は国において示された業種別ガイドラインに従った取組を行う旨、HP等で公表

各チェック項目を満たさない場合には、当該項目を満たさなくても感染防止対策上、問題がないと考えられる事由をご記入ください。

例) 屋外のため、換気は不要と考える

チェック項目を満たさない場合でも、感染防止対策上、問題がないと考える事由